



## 1

## 修学旅行（2年生）

私たちは台湾修学旅行で、台湾の歴史や建造物を知り、環境や生活文化の日本との相違点を見つけることができました。特に印象的だったのは、日本は自炊が一般的だけど、台湾は夜市が発達し、安価な外食が日常的だったり、日本の料理は塩辛い傾向にあるけど、台湾は砂糖を多用していて甘めの味だったりしました。日本では当たり前だと思っていた食文化も他国と比較してみると、新たな発見があり、旅行中にそれを実感することがとても新鮮で楽しかったです。初めての台湾旅行で不安な気持ちもありましたが、三泊四日の中でどんどん異文化に触れ、現地の方ともコミュニケーションをとれたことでこの修学旅行が素敵な思い出になりました。修学旅行を通して自分の知らないことを知っ



中山利己（東豊中出身）

ていく楽しさを学んだと同時に、改めて自国の文化の温かみを知りました。学校生活でも新しいことを恐れずに、挑戦していくことが大切だと感じました。



## B&amp;Sについて

B&Sとは「brother & sister」の略で、その土地の学生とともに、自分たちが立てた問いと仮説を立証するために、調査と検証を行う活動のことを言います。私たちは「台湾の観光客に向けたピクトグラムの特質」について探究を行っており、実際に台湾でどのようにピクトグラムが用いられているかを調査してきました。主に調査したのは「迪化街・永康街」です。この2つの都市は観光客が非常に多く、とても有意義な調査ができました。日本人観光客が多い箇所では、「日本語・中国語・英語」で看板などの案内が書かれており、他には「中国語・英語」のみの箇所もありました。日本語があると理解は容易に出来ましたが、日本語がないと翻訳が大変で、ピクトグラムの分かりやすさ、ありがたさに気づくことが出来ました。日本には見られないマークも多数あり、新鮮で面白かったです。総合の時間を通して、問いについて更に深め、考察をしていきたいです。

藤田貴実（石野中出身）

## 2

## 遠足（1年生）

1年生は遠足で東山動植物園に行きました。現地集合で電車に乗って友達と遠足に行く体験は、高校生になってからできた新しい体験でとても楽しかったです。当日は暑さを感じるくらいの晴天の中、動物園を散策することができました。陽の光が水面に反射してきれいだったペンギンやアザラシのブースは視界がキラキラしていて楽しかったです。それぞれのブースに動物の魅力や伝わる工夫が凝らしてあって、見つける楽しさにわくわくしました。友人と動物園でしか食べられないアイスや、クラスメイトと写真を撮ったり、遊園地で遊んだりなど、その瞬間にしかできないことを切り取りながら過ごすことができました。

フォルダに残る皆の笑顔と、今でも脳裏に浮かぶ思い出は、「高校生になってから」のあこがれを全力で体験できたと思います。

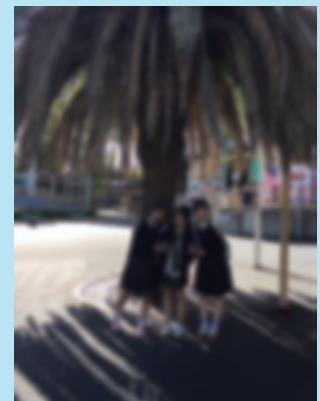


高橋大希（清野中出身）

## 3

## 遠足（3年生）

私たち3年生は、遠足でナガシマスパーランドに行きました。当日はとてもいい天気恵まれ、バスに乗った瞬間からすでにワクワクした気持ちが高まりました。入園するとさらにテンションが上がり、ジェットコースターをはじめ、たくさんのアトラクションを楽しむことができました。中でも、私はシャトルループが一番印象に残っています。予想以上にスピードと浮遊感がすごくて楽しかったです。約5時間では足りないくらい楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいましたが、どの瞬間も本当に充実していました。友達とたくさん叫んで笑い合った時間は何にも代えられない宝物です。高校生活もあと少しだと思うと寂しいですが、これからも素敵な思い出をたくさん作っていきたいです。



藤井唯聖（清野中出身）

## 4

## 部活動紹介

## 合唱部

私たち合唱部は、夏の大会や地域での発表を終え、現在はアンサンブルコンテストに向けて練習に励んでいます。金賞を目指して、難しいリズムや音程を部員全員で少しずつ合わせながら、協力して取り組んでいます。全員の創る音を、まとまりのある一つの音楽にすることができるよう、これからも部活に真剣に向き合っていきます。これからも応援よろしくお願いします！



## 5

## イルミネーションストーリー

私たちJRC部は、9月13日（土）・14日（日）に豊田スタジアムで行われたとよた産業フェスタで、来場者の皆さんに夢をアクリル板に書いてもらう「ミライミラー」という企画を行いました。大変だったのは、ただ「書いてください」と言うだけではなくて、その人自身の思いをうまく引き出すことでした。でも、皆さんが自分の未来を想像しながら夢を描いている姿を見て、その時間がとても温かく感じられました。11月4日（火）には、IPPO CLUBの皆さんと一緒に200枚の「ミライミラー」を豊田市駅前の連絡通路に飾り付けました。集まった「夢」が、特別に点灯してもらったイルミネーションと一緒に輝いている光景は本当に感動的で、私たちの活動の意味を改めて感じることができました。

豊田真広、高橋知葉（清野中出身）

